

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年7月27日(2023.7.27)

【国際公開番号】WO2021/044982

【出願番号】特願2021-543743(P2021-543743)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10(2006.01)

【FI】

A 6 1 B 3/10 1 0 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月19日(2023.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

OC T光源からの光を測定光路と参照光路とに分割するための光分割器を有し、前記測定光路を介して被検眼の眼底に導かれた測定光と前記参照光路からの参照光とのスペクトル干渉信号を検出するOC T光学系と、

前記OC T光学系から出力されるスペクトル干渉信号を処理して眼底のOC Tデータを取得する画像処理手段と、

相対的に高精度なOC Tデータが得られる深さ領域である高精度領域の位置を、前記OC T光学系を前記OC Tデータの撮影範囲における眼底の像の湾曲レベルに応じて制御することによって調整する制御手段と、
を備えるOC T装置。

【請求項2】

30

前記制御手段は、前記眼底の像の基準位置に対する高精度領域の位置を、眼底の像の湾曲レベルに応じて、OC Tデータ毎に調整する請求項1記載のOC T装置。

【請求項3】

前記OC T光学系は、前記測定光路と前記参照光路との少なくともいずれかの光路長を変更する光路長変更手段を更に含み、

前記制御手段は、前記光路長変更手段を制御することによって、前記高精度領域の位置を調整する、請求項1又は2記載のOC T装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記湾曲レベルが第1レベルである場合に対し、前記1範囲よりも湾曲が大きな第2レベルである場合では、より浅層側へ前記高精度領域の位置を変位させる、請求項3記載のOC T装置。

40

【請求項5】

前記OC T光学系は、フォーカス位置を調整するためのフォーカス調整手段を更に含み、

前記制御手段は、前記フォーカス調整手段を制御することによって、前記高精度領域の位置を調整する、請求項1から4のいずれかに記載のOC T装置。

【請求項6】

前記OC T光学系は、前記測定光と前記参照光との偏光を調整する偏光調整手段を更に含み、

前記制御手段は、前記偏光調整手段を制御することによって、前記高精度領域の位置を

50

調整する、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の OCT 装置。

【請求項 7】

前記撮影範囲の設定操作を検出する操作検出手段を、更に有し、

前記制御手段は、前記設定操作によって設定される前記撮影範囲内における前記湾曲レベルに応じて前記 OCT 光学系を制御し、前記高精度領域の位置を調整する、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の OCT 装置。

【請求項 8】

前記 OCT 光学系における画角を光学的に変更する画角切換手段を有し、

前記制御手段は、前記画角を考慮した前記撮影範囲内における前記湾曲レベルに応じて前記 OCT 光学系を制御し、前記高精度領域の位置を調整する請求項 1 から 7 のいずれかに記載の OCT 装置。

10

【請求項 9】

被検眼における眼軸長値に関する眼軸長情報を取得する眼軸長情報取得手段を、更に有し、

前記制御手段は、前記眼軸長情報を考慮した前記湾曲レベルに応じて前記 OCT 光学系を制御し、前記高精度領域の位置を調整する、請求項 1 から 8 のいずれかに記載の OCT 装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、深さ方向に関する眼底の像の像位置であって、眼底の像に関する信号強度が最大化されるように前記光路長調整手段が駆動された状態での像位置に基づいて前記 OCT 光学系を制御し、前記高精度領域の位置を調整する、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の OCT 装置。

20

【請求項 11】

前記画像処理器は、前記 OCT データに基づいて前記湾曲レベルに関する情報を検出し

、前記制御手段は、前記検出された前記情報に基づいて前記高精度領域の位置を調整する、請求項 1 から 10 のいずれかに記載の OCT 装置。

30

40

50